

SSS

道を行くにも！ 田園の散策にも！
必ず携へらるる

サンエス萬年筆

萬年筆用サンエスインキ

東京・大阪

細沼祥式會社

其の夜、お吉の家では、お花に
 對する計畫を定むらうとして、
 金山さんの代人とお吉さんの三人
 會談が開かれた。
 「金はいくら入つても厭はな
 いわしはお花に手に入れたら、
 故の年齢まで贈り交はし手に掛け
 られさう、今度ほゞ恥を與かさ
 れたことは無いのだ」
 「御有難うございます、わた
 しはあんなぢやないと思つて、
 お世話にうけたのですけれも
 もね」
 「さうで何うしますかね」代人
 は有難ういふ顔をして、「いくら
 も金があつてお探ひになつたつ
 所でも出して還る、云つて見
 れば、あの人の首を」
 「さういふ、好いことがあり
 ます、それが……」
 「お吉、狂狂な聲を出した」
 「これ、お花を考へましたか」
 「でも、名案を考へましたも
 さあ目下、御美をいくら下
 さい」
 「いくらでも出さう、まあお
 の名案、さうののを行つて開け
 ないやう」
 「これなら大丈夫です、きつ
 とお望みが成ります、ですけれ
 ども、お花が少くも厭で、わい、
 少くとも三百兩は……」



津田醫學器械舖

京坂本町東二丁目
電話九百三十三番

醫師藤原嘉樹御中込道也患

齒科も粉砕して居る。その學に飛じて手術をして、小林は美智子を手に入れ、金山は花枝を抱へたことができた。一舉に二人の望みを遂げるのが爲さうだつて云ふのであつた。

「こいつは面白い。そこでその總の奴さんは何處に住んで居るかね」

小林はまだ驚いてゐた。

「しむいよめ物を思ひぬ手の指の爪をなめ物と思ひぬものかなやな思ふにつく秋半表には深き影法師に」

▲當方は大膽の男兒
一の家族でござん
女が女子小僧と
聞かなくやうすぢ

仕事はまたまぜの三四郎内分付
過日辰巳日替の手紙を寄附金川
仰つられ下駄踏つといふ
り抑つれどまだな方にてい
度家來常盤・林村の都合書見員
の御取次此出来す認ないとした
が今更事柄とり違はれるうら
なりまして如御意の方に納候
へいたします然様減つくせざる
都合いたします御希望の方
書を御覧す申渡す。其後

○城 内田 隆治

早川まつ

○城 内田 隆治

○城 内田 隆治

[illegible]

(第十四回) 六華會青年敗退棋

いにはへこちなりわねるよたそれつ

三三
三五
三四
二四
一四
〇三
〇五
〇七
〇九
一一
一二
一三
一四
一五
一六
一七
一八
一九

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九

徹ましたし君心に願はれてこそ心
さびしう閑に近く我れを
身をもぐらふわが縁のなをつか
する獨り佇み秋風の中
○京城しのぶ
草里の身をよめつつ小娘なさむけの夢也

利川 山本 貞子
かゝるかの春物語に探して感さ
目に遺ひましものですが今候は
思ひまき様の中にお富りが
一四五五七八九十三番迄各々大

(湖泉氏一回目) 互先 一段 藤原 繁治
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九

[illegible][illegible]

有

はりん病

百毒

請別合
別三並
四四八
円円円
一全

藥

●西國藥主藥は沿羅國の七通藥師並に歐
 羅布内服藥と中國藥師上京有分館決定し
 歐醫科大學藥學帝國大學藥
 米にて當揭配劑せる高等藥師を大學醫院
 著し前連の証を遂へる
 事を議員より明はる折料
 志患はる宛に角一度求めずも妙也
 本舖大坂松原有田音松

設藥所大阪市本有田音松

通本

橋瓜日京東
 筋橋齋心岐大

田

沢山也來寺
 手

MITSUWA SOAP.

The pure soap, from chemical point of view, should dissolve transparently in Alcohol with an sediment at all. Not only MITSUWA SOAP fulfills that requirement but it possesses a delicate and refreshing smell. It is absolutely free from all traces of impurities and contains no "free" Alkali. It makes a soft, creamy lather, which cleans the skin thoroughly, and seems to a last wafer. MITSUWA SOAP gives comfort and satisfaction every moment of its use for toilet, bath, or nursery.

離脂肪なきが故に混濁する事なく、混合物なきが故に些の沈渣をも殘留せず、更に「フエノールフタレイン」を以て、仔細に遊離の亞爾加里を驗するも毫末の反應を呈する事なき、是を化學上の純石鹼なりとす。

油脂の分泌量多くして而かも粗糙なる本邦人の皮膚、及び漆黒を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、實に化學上の純石鹼たるの故のみを以て、其適否を論ず可からず。

みつわ。せつけん

○ミツワ石鹼

は化學上の純石鹼たるのみならず、尙左の性質を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に、香料に、苟も刺激を感すべき虞あるものを用ひず。

一、溫雅の芳香を有す。

一、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて、而かも浴室に用ひて、半途に溶け崩るゝか。



スプツロド油肝 ○ 藥庭家ワツミ

店商屋見丸

日丁四町橋區本日本京東
番〇一七京東警振

四四・〇三花濱區話電
〇〇〇三・〇五四九四四

味の素

味の素一匙で
お料理は美味
滋養



11 - H)

[illegible]

京電誠意

株式 (前日)

▲前日相場高
▲主要株歩み値段
▲東京現物特電
▲大連株式特電
▲仁川米市
▲米況 (前日)

▲動力金引上是非
▲仁取株上伸
▲仁川米市
▲米況 (前日)

▲仁取株上伸
▲仁川米市
▲米況 (前日)

▲仁取株上伸
▲仁川米市
▲米況 (前日)

▲仁取株上伸
▲仁川米市
▲米況 (前日)

▲仁取株上伸
▲仁川米市
▲米況 (前日)

▲仁取株上伸
▲仁川米市
▲米況 (前日)

▲仁取株上伸
▲仁川米市
▲米況 (前日)

▲仁取株上伸
▲仁川米市
▲米況 (前日)

▲仁取株上伸
▲仁川米市
▲米況 (前日)

▲仁取株上伸
▲仁川米市
▲米況 (前日)

米況

仁川米市

▲仁川米市
▲米況 (前日)

▲仁川米市
▲米況 (前日)

▲仁川米市
▲米況 (前日)

▲仁川米市
▲米況 (前日)

▲仁川米市
▲米況 (前日)

▲仁川米市
▲米況 (前日)

▲仁川米市
▲米況 (前日)

▲仁川米市
▲米況 (前日)

▲仁川米市
▲米況 (前日)

▲仁川米市
▲米況 (前日)

▲仁川米市
▲米況 (前日)

演藝案内

大正新

▲大正新
▲演藝案内

▲大正新
▲演藝案内

▲大正新
▲演藝案内

▲大正新
▲演藝案内

▲大正新
▲演藝案内

▲大正新
▲演藝案内

▲大正新
▲演藝案内

▲大正新
▲演藝案内

▲大正新
▲演藝案内

▲大正新
▲演藝案内

▲大正新
▲演藝案内

京日案内

京日案内

▲京日案内
▲京日案内

▲京日案内
▲京日案内

▲京日案内
▲京日案内

▲京日案内
▲京日案内

▲京日案内
▲京日案内

▲京日案内
▲京日案内

▲京日案内
▲京日案内

▲京日案内
▲京日案内

▲京日案内
▲京日案内

▲京日案内
▲京日案内

▲京日案内
▲京日案内

金井眼科

▲金井眼科
▲金井眼科

仁川眼科

▲仁川眼科
▲仁川眼科

痔疾専門

▲痔疾専門
▲痔疾専門

奉祝明治神宮祭

▲奉祝明治神宮祭
▲奉祝明治神宮祭

代理店

▲代理店
▲代理店

油醬タゲヒ

▲油醬タゲヒ
▲油醬タゲヒ

金井眼科

▲金井眼科
▲金井眼科

仁川眼科

▲仁川眼科
▲仁川眼科

痔疾専門

▲痔疾専門
▲痔疾専門

奉祝明治神宮祭

▲奉祝明治神宮祭
▲奉祝明治神宮祭

代理店

▲代理店
▲代理店

油醬タゲヒ

▲油醬タゲヒ
▲油醬タゲヒ